



2009年7月13日

報道関係者各位

楽天証券株式会社

日米同時値下げ！業界屈指の格安手数料へ 楽天証券サービス開始10周年 国内株式&米国株式 取引手数料値下げのお知らせ

楽天証券株式会社（代表取締役社長：楠 雄治、本社：東京都品川区）は、2009年8月3日（月）約定分（予定）より、国内株式委託手数料および米国株式委託手数料の大幅改定を実施いたします。

- 一約定あたり手数料（ワンショットコース）を大幅改定（最大約58%）。
- 国内株式委託手数料の1%のポイントバック。
- 米国株式・米国ETF・ADR委託手数料も約17%引下げ。

■ 背景・ねらい

弊社では、最先端のトレーディング機能を搭載した投資ツール「マーケットスピード」や国内最大級の取扱い数を誇る、投資信託および海外ETFの提供など、個人の投資環境の拡充に努めてまいりました。なかでも、ネット証券だからこそ実現した廉価な株式委託手数料の提供は、個人投資家ブームを巻き起こすまでにいたしました。

1999年の株式委託手数料自由化から10年、また、弊社のサービス開始10周年となる今年、お客様の日頃のご愛顧の感謝と、さらなる個人投資家のすそ野の拡大を目的に、一約定あたり手数料「ワンショットコース」を最大約58%値下げし、業界屈指の格安な手数料を実現いたします。

また同時に、国内最大数の取扱いを誇る米国ETFや米国株式、ADR委託手数料におきましても、約17%の手数料引き下げを実施いたします。

これによりネット証券競合他社対比において、全方位で優位性を確保し、ネット証券首位の座を獲得するための競争力を一気に引き上げます。



■ 委託手数料改定内容の詳細

1. 日本株式委託手数料

- 「ワンショットコース」(1注文の約定代金ごとに手数料を算出)

	現物取引		<参考> 信用取引
	新手数料	現行	
10万円まで	198円	472円	262円
20万円まで	250円		
30万円まで	450円		
50万円まで		840円	472円
100万円まで	800円		
150万円まで	950円		
3,000万円まで	1,500円	1,575円	
3,000万円超	1,575円		

- ※ すべて1取引あたりの金額(消費税込み)。
- ※ 新手数料は日中取引のインターネット経由および自動音声による電話注文に適用されます。PTS(夜間)取引、カスタマーサービスセンターのオペレータ取次ぎ注文には適用されません。
- ※ 「いちにち定額」コースは、従来通り、手数料の改定はございません。

2. 米国株式委託手数料

	新手数料	旧手数料
1,000株まで	26.25米ドル	31.5米ドル
1,000株超の場合、1株ごとに	2.1米セント追加	

- ※ すべて1取引あたりの金額(消費税込み)。
- ※ 売却時は通常の手数料に加え、SEC Fee(米国現地証券取引所手数料)が別途発生いたします。(ドルベース約定代金×0.0000257米ドル(米セント未満切り上げ・2009年4月10日現在))
- ※ 対象商品…米国株式(598銘柄、ADRを含む)、米国ETF(69銘柄)(2009年7月10日現在)



■ 「お取引ポイントプログラム」改定内容の詳細

1 取引あたり、以下の対象ポイントを楽天証券ポイント（もしくは楽天スーパーポイント）でポイントバックいたします。

8月3日(月)約定分より	現行
国内株式委託手数料の1%	ポイントバックなし

※ 国内株式（現物・信用）、PTS（夜間）取引が対象となります。

※ 現在実施中の「投信積立サービス」および「投資信託資産形成ポイント還元サービス」は、従来通り、変更はございません。

【手数料等およびリスクの説明について】

弊社の取扱商品等にご投資いただく際には、各商品等に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。各商品等へのご投資にかかる手数料等およびリスクについては、楽天証券ホームページの「投資にかかる手数料等およびリスク」ページに記載されている内容や契約締結前交付書面等をよくお読みになり、内容について十分にご理解ください。

商号等：楽天証券株式会社

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第195号

加入協会：日本証券業協会、社団法人金融先物取引業協会